

呉市立地適正化計画検討委員会（第２回） 摘録

- 1 日 時 令和６年１０月１０日（木） １５時００分～１５時２５分
- 2 場 所 呉市役所２階 防災会議室
- 3 議事の概要

15 : 00

【開会】

15 : 03

【議事１】

「議事１ 呉市立地適正化計画（改定素案）について」に関して事務局より説明（資料３ 呉市立地適正化計画（改定素案）概要資料）

15 : 15

【質疑・意見交換】

（○：委員 ●：事務局）

意見交換における主な意見は次のとおり。

○資料２の９０～９３ページにおいて、居住誘導区域の検証を行っているが、阿賀地域と安浦地域の居住誘導区域では、津波による浸水深が２メートル以上となる区域が広がっていることが示されており、こうした既成市街地であっても広い範囲で浸水想定区域が指定されている。こうした地域を居住誘導区域から除くことは難しいため、検証を行った上で居住誘導区域を定めているものと理解している。

一時避難施設の徒歩圏３００メートル以内に、浸水深２メートル以上の区域がほぼ全域が含まれていることや、居住人口に対して、一時避難施設の収容人員が十分確保できている等の検証結果を踏まえ、浸水深２メートル以上の区域であっても、例外的に居住誘導区域を定めているが、その区域で暮らしている方が、行政からお墨付きの安全な土地に住んでいると思われる恐れがある。災害リスクの意識が薄れることに対して、災害リスクがあることをきちんと認識してもらえるように丁寧に説明をしてもらいたい。

●今後、地域説明会の実施を予定しており、地域の皆様にも災害リスクを認識していただくため、丁寧な説明を行っていきたいと考えている。

○第1回の委員会の際に、マクロ分析やミクロ分析による災害リスクの分析図を示し、誰もが災害リスクがわかるようにしてもらいたいという意見を出したが、こうして計画書に掲載することでとてもわかりやすくなっていると思う。

ただし、資料2の157ページの阿賀地域の地震を起因とした災害の分析図において、津波によるリスクに対するソフト対策として、「早期避難の意識醸成」が記載されている一方で、165ページの安浦地域の同様の分析図では、津波によるリスクに対して「早期避難の意識醸成」が位置付けられていないが、必要な取組だと思うので追加すべきと考える。

●整合が図れてないため、修正する。

○資料2の100ページにおいて、都市機能誘導区域に誘導施設の立地を誘導するための継続施策として、「個別施設計画の推進」が位置付けられているが、すでに単体の施設で考えるのではなく、呉市全体で公共施設の整理（統合・廃止等）が必要な時期に来ていると思う。特に島嶼部での公共施設における指定管理料と利用者数&利用料金をみると費用対効果の点から極めて課題が多い。

○資料2の183ページにおいて、「リスクの低減（ハード）」中、「防災拠点の機能強化」において、具体的な施策として、「避難場所の確保や公園の防災機能の強化・充実」が位置付けられているが、実施時期の目標では、短期で終了となっている。

この取組の趣旨としては、都市公園としての防災機能強化に避難場所も含まれていると解釈するが、文章として「避難場所の確保」と「公園の防災機能の強化・充実」が分離して見えるので、表現を変えた方が良いのではないかな。

〔田中委員長〕

○災害リスク分析に対する取組内容の整合や表現方法，また，誘導施策に対しての意見があった。第３回の検討委員会に向けて修正をお願いする。

15 : 24

【閉会挨拶（都市部長）】

都市部長の荻野でございます。閉会にあたり，一言ご挨拶申し上げます。

本日は，公私ともご多忙の中，本委員会にご出席いただくとともに，貴重なご意見もいただき，感謝申し上げます。

本日の委員会は，第２回目ということで，呉市立地適正化計画の改定の素案を委員の皆様にお示しさせていただきました。

この度の改定は，人口減少が進む中，持続可能なまちづくりを目指すとともに，激甚化・頻発化する災害に対応するための防災まちづくりを行うために防災指針を位置づけるものでございます。

市民の皆様をはじめ，企業，行政が一体となって，地域の防災力を向上させることが重要なポイントになると考えおります。

今年度の計画公表を目指し，あと１回検討委員会を開催する予定としております。

委員の皆様におかれましては，引き続き，忌憚のないご意見を頂き，より良い計画としたいと考えておりますので，引き続き，よろしくお願いいたします。

本日は，ありがとうございました。

15 : 25

【閉会】